

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

こころとからだの理解		冊数	1冊
発行者の略称・教科書の番号	実教704		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【福祉の目標】

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【こころとからだの理解の目標】

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護を実践するための人間の理解に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【こころとからだの理解の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。 [指導項目] (1) こころとからだの基礎的理解 ア こころの理解 イ からだのしくみの理解 (2) 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解 ア 身じたくに関するこころとからだのしくみ イ 移動に関するこころとからだのしくみ ウ 食事に関するこころとからだのしくみ エ 入浴・清潔に関するこころとからだのしくみ オ 排泄に関するこころとからだのしくみ カ 睡眠・休養に関するこころとからだのしくみ キ 緊急時・災害時に関するこころとからだのしくみ ク 終末期に関するこころとからだのしくみ (3) 発達と老化の理解 ア 人間の成長と発達 イ 老年期の理解と日常生活 ウ 高齢者と健康	(1) 内容を取り扱う際には、次の事項に配慮するものとする。 ア [指導項目]の(1)から(5)までについては、生徒や地域の実態、学科の特色に応じて、いずれかを選択して扱うことができること。 イ [指導項目]の(1)については、介護技術の根拠となるこころとからだとの関連や人体構造と機能について理解できるよう留意して指導すること。また、介護福祉サービスにおける安全や心理面への配慮に関連付けて指導すること。 ウ [指導項目]の(2)については、福祉用具や介護ロボットの活用を含めた介護福祉サービスにおける安全や心理面への配慮に関連付けて指導すること。また、基本的な生活行動と各器官の機能を関連付けて指導すること。 エ [指導項目]の(3)から(5)までについては、サービス利用者の生活や心身の状況に加え、家族を含めた周囲の環境にも関連付けて指導すること。 (2) 内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。 ア [指導項目]の(1)のアについては、人間の基本的欲求や社会的欲求、発達課題などについても扱うこと。イについては、人体の構造や機能、生命維持のしくみや人体各部の名称などについて扱うこと。また、健康状態の把握方法に

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>(4) 認知症の理解 ア 認知症の基礎的理解 イ 認知症に伴う心身の変化と日常生活 ウ 認知症を取り巻く状況</p> <p>(5) 障害の理解 ア 障害の基礎的理解 イ 生活機能障害の理解 ウ 障害者の生活理解</p>	<p>については、医療的ケアと関連付けて扱うこと。</p> <p>イ 【指導項目】の(2)については、「生活支援技術」と関連付けて扱うこと。キについては、具体的な事例を通して、サービス利用者の状態や状況に応じた緊急時・災害時における介護について扱うこと。クについては、サービス利用者の心身の状態に応じた保健医療職など他の職種との連携についても扱うこと。</p> <p>ウ 【指導項目】の(3)及び(5)については、高齢者や障害者などに多く見られる疾病、感染症、機能低下及び日常生活への影響などについて扱うこと。また、医薬品とその使用法についても扱うこと。さらに、高齢者や障害者の交通安全などについても扱うこと。</p> <p>エ 【指導項目】の(3)のアについては、人間の成長・発達における心理や身体機能の変化と日常生活への影響について扱うこと。イについては、老年期の定義、高齢者の医療制度などについて、「社会福祉基礎」や「介護福祉基礎」と関連付けて扱うこと。ウについては、ヘルスプロモーションの考え方及び生涯を通じた健康についても扱うこと。また、健康と環境や食品などとの関係についても扱うこと。</p> <p>オ 【指導項目】の(4)及び(5)については、地域包括支援センターの役割や機能など地域の支援体制や関連職種との連携と協働、ムアプローチ及び家族への支援や指導についても扱うこと。</p> <p>カ 【指導項目】の(4)については、認知症の特徴と生活への影響、予防と治療、支える家族や生活面への影響について扱うこと。ウについては、認知症ケアの歴史や理念、罹患者数の推移、認知症高齢者への支援対策の概要についても扱うこと。</p> <p>キ 【指導項目】の(5)については、障害に関する基本的な考え方と関連法規について、「社会福祉基礎」と関連付けて扱うこと。アについては、国際障害分類から国際生活機能分類への障害の捉え方の変遷について扱うこと。イについては、各種障害の種類や特性などについて扱うこと。ウについては、具体的な事例を通して、障害が日常生活に及ぼす影響、心身機能の活用、在宅医療を含めた地域における支援体制などについても扱うこと。</p>

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第3章第8節第3款1(1)
b 地域福祉や福祉社会に関わる内容	学習指導要領第3章第8節第1款
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る
- b 地域福祉や福祉社会に関わる内容
 - ・ 各単元において、地域社会や福祉社会に関わる内容を見取る

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重
- ・ 人権課題
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック、パラリンピックの扱い
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」言及されているため、ここらとからだの理解では、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的に調査する。
- b 地域福祉や福祉社会に関わる内容
 - ・ 学習指導要領では、福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成することが目指すとあるため、地域福祉や福祉社会と関連付けられている項目・題材について調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針 1 に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針 2・3 に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針 1 及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	福祉
科目名	こころとからだの理解

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	福祉704◆
教科書名	こころとからだの理解

(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【こころとからだの基礎的理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の口絵で、からだの部位、全身のおもな骨格筋の名称について、図を活用することで、からだの位置関係をより理解しやすいように工夫されている。 ・「こころの理解」の単元で、「今、自分のしたいこと、欲しいものなどの欲求」をマズローの欲求段階に当てはめることを考えるなど、題材の理解が深まるように工夫されている。 ・「こころの理解」の単元で、防衛機制について、現在の精神状況などを当てはめ自身の精神的な様子を把握する場面が設けられており、内容の理解が深まるように工夫されている。
【生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活場面の变化に関するこころとからだのしくみ」の単元で、災害時の福祉支援体制について、平時と災害時の違いが図解されており、災害時における多職種との連携について理解が深まるように工夫されている。
【発達と老化の理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・「人間の成長と発達」の単元で、「ハヴィガーストの発達課題」について、自身の発達課題を具体的に考えることにより、主体的に思考できるように工夫されている。また、身近にいる大人へ聞き取る課題などが設けられており、協働的な活動が行えるように工夫されている。
【認知症の理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症に伴う心身の変化と日常生活」の単元で、BPSD（行動・心理症状）について記述されており、認知症の人による暴力や介護への抵抗が起こる場面について、その背景を考える取組を通して、学習内容の理解が深まるような構成になっている。 ・「認知症と地域サポート」の単元で、認知症フレンドリーコミュニティについて記述されており、認知症カフェの事例を挙げ、役割や本人や家族、社会に与える影響について、考えることができるように工夫されている。 ・「認知症と地域サポート」の単元で、認知症ケアパスについて、事例が図解されており、関係機関との繋がりについて理解が深まるように工夫されている。
【障害の理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害に伴う心身の変化と日常生活」の単元で、障害のある人の自立支援においてストレングスの視点から考える必要性について、事例やバリアフリー化した公園施設の例で示すことにより、理解が深まるように工夫されている。 ・「障害と地域生活支援」の単元で、障害がある人への支援について、コラムの事例を通して、本人に与える精神的な影響や課題を発見し、援助者として必要な支援を考えることができる構成になっている。
b 地域福祉や福祉社会に関わる内容	
【こころとからだの基礎的理解】	記載なし
【生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活場面の变化に関するこころとからだのしくみ」の単元で、災害時の医療専門職との連携について記述されており、特に災害派遣医療チーム（DMAT）や災害派遣精神医療チーム（DPAT）を通して、地域福祉や社会福祉との関わりについて理解できる内容になっている。 ・「生活場面の变化に関するこころとからだのしくみ」の単元で、終末期における家族を含めた支援や、医師や看護師をはじめとした職種との連携による看取りケアを通して、地域福祉や社会福祉との関わりについて理解できる内容になっている。
【発達と老化の理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者と健康」の単元で、高齢者の生活を支えるために、医師や看護師、歯科医、保健師、理学療法士、作業療法士などさまざまな専門職との連携の必要性を、チームケアを通して理解できる内容になっている。
【認知症の理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症をとりまく現状」の単元で、認知症ケアに関する施策の歴史を知ることで、地域福祉や社会福祉との関わりについて理解できる内容になっている。 ・「認知症の基礎的理解」の単元で、医療連携や介護保険サービスを有効的に利用することについて記述があり、地域福祉や社会福祉との関わりについて理解できる内容になっている。 ・「認知症と地域サポート」の単元で、地域包括支援センターや認知症サポーターなどのサポート体制や、認知症の人の家族を支える支援であるレスパイトケアについて記述があり、地域福祉や社会福祉との関わりについて理解できる内容になっている。
【障害の理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害と地域生活支援」の単元で、相談支援専門員による計画相談支援や、基幹相談支援センターなどの地域サポート体制を通して、地域福祉や社会福祉との関わりについて理解できる内容になっている。 ・「障害と地域生活支援」の単元で、親の会、家族の会での相談や情報交換の他に、経済的支援やホームヘルパーの派遣などの日常生活への支援など障害児・者と家族の生活を支えるための福祉サービスを通して、地域福祉や社会福祉との関わりについて理解できる内容になっている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・生活場面の变化に関するこころとからだのしくみ ・緊急時に関するこころとからだのしくみ ・災害時に関するこころとからだのしくみ
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
伝統的な男女の役割が分かるような記述	記載なし

(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	・全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされており、また見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。